

阿南町社会福祉協議会

第114号

# まめだかな？

長野県下伊那郡阿南町西條709 「おげんきサルビアの郷」内  
TEL(0260)22-3151

グループホームまめだかな

## まめだより

### 小正月の繭玉づくり

まめだかなでは、山から「びんかの木」や「笹竹」をいただいたきで、職員と保育所の先生と一緒に繭玉づくりを行いました。じつは楽しみにしていた保育所との交流会が、インフルエンザなどの流行で取りやめになってしまいが、先生だけがもと参加してくれました。昔は餅花や繭玉をつくって、小正月の行事をやったんですよ。ということで「まめだかな流」の繭玉づくりに挑戦してみました。米粉、白玉粉を水で練って蒸して、さらに砂糖を入れて練り、丸くして桃色・黄色・緑色・白と四色の繭玉をつくりました。みなさん付けた餅が落っこちたりと苦戦しながらも、きれいに飾り付けました。繭玉は後日、油で揚げていただきました。パリッとしてとても美味しかったですよ。

(成瀬 節子)



サルビア通信

# 新年会

「出演者は台本片手となりますが、隅から隅まで、ずずいとお願ひ上げ奉ります。」

拍子木で幕が開き、座長の挨拶で『桃太郎物語』開演。この度新しく立ち上げました『サルビア劇団』出演者だけでなく、観客の皆さまも一緒に参加できる台本を座長が作りました。

舞台は秋の太下條村。昔々、それはそれは仲の良い夫婦が住



んでおりました。おとうの太郎と、おかの花子。川へ洗濯に行くと、どんぶらこくと大きな桃が流れてきます「おかあ

は村一番の力持ちだでよ」軽々持ち上げ、おとうの所へ。大きな包丁を入れると：中からかわいい赤ん坊が『こんにちは赤ちゃん』の歌にのせて喜びます。

あれから四十年。太郎のフサフサなカツラは剥ぎ取られ、照明の明かりでピカピカまぶしく、驚きの声と大爆笑。桃太郎には、

まだ嫁が出来ません、噂によると悪い鬼が、若い娘を次々にさらっていくんだとか。桃太郎は鬼が島ならぬ弁当山へといざ出陣。『桃太郎』を歌い客席を周ると「ワンワン、桃太郎さんどこへ行くんな?」「弁当山に出る鬼を退治に行くんな!」「一緒に付いて行きたいな!」「いいよ!このきび団子を」「うん!力が湧いてきた!」犬の足は急に速くなります。更に、猿とキジの心強いお供が加わり弁当山へ。



鬼達は『炭坑節』で大盛り上がり。そして、かわいい娘が舞の曲を踊らされみんなうっとり

♥桃太郎は土産のお酒で酒盛り。気分良くなった鬼達は『スーダラ節』を歌い始めます。ところが?急に眠くなってきました。すかさず桃太郎達は鬼達を縄で縛りあげます。鬼達も暴れて抵抗するも、酔ってフラフラに：「お詫びに宝物を差し上げますから許してください!」。

娘を連れて、おじいさんとおばあさんの所へ「あれま〜お供まで連れてきたんか〜!ん?誰

だ?この娘さんは?」桃太郎は『嫁に來ないか』をソロで熱唱し、娘を抱き寄せプロポーズ。出演者から花吹雪で祝言され、めでたしめでたし。

最後に『人生いろいろ』を歌い、観客の皆さん一人一人と握手して回り、ファイナルへ。皆さんの笑顔と励ましのお言葉に、涙が出るほど嬉しくなったサルビア劇団でした。

(湯川 三幸)



# まめかな人達 No.35

このコーナーでは、阿南町で元気に過ごしている「まめかな人達」を紹介します。



今回お訪ねしたのは、深見にお住いの松澤森男さん（八十六）サカエさん（八十九）ご夫妻のお宅です。

ご主人は中野市出身で五人兄弟の二男、若い頃大阪の「カネボウ紡績」で働いていた二人は職場結婚し二人の子供を授かり、昭和三十三年にサカエさんの実家、深見に来たそうです。働き者でご主人は寝具関連の仕事一筋に七十九歳まで、奥さんは何と

八十三歳まで働いたそうです。深見保育園や一中の深和寮でも働いていたそうで、お世話になった方だと想い出している読者もきつといますよね。そんな二人の共通の楽しみがゲートボール、深見チームの練習場へ取材に伺った時、私もちよつとだけゲートを体験したら確かに面白い。お茶休憩のとき奥さんは「週二回の練習が何より楽しみ、皆とこうやって話せるのが嬉しいいな」と眼を細めていました。取材中、何

度も奥さんの口から出た言葉が「できることは、やつとかんと損だに」言うだけの事はあり二人とも多趣味。奥さんは若い頃、流行のルンバを踊り（ご主人もタングを踊ったそうです）その後も民謡・踊り・大正琴を習い、大正琴では阿南&下條の仲間たちと東京のNHKホールで演奏してきたそうです。続いて一番の楽しみが俳句と言うご主人、七十九歳で老人大学へ行き俳句同好会を作り、好きが高じて今では南信俳句会の副会長を務めており、詠んだ俳句が昨年、全国大会に於いて優秀賞を受賞した時はホント嬉しかったと目を輝かせて話してくれました。もう一つ聞きたかったの

が、昨秋、文化の日に町から表彰されたこと。深見の諏訪神社の氏子総代を二期六年務めたとき、年三回あるお祭りを後世まで伝承するには体系化した資料を残さないと駄目だと感じ、歴代の総代にも話を聞いたりして一冊の本にした。今でも普通にパソコンを使い、長野市辺りまでなら自分で運転して行っちゃうご主人「あと三年は大丈夫、だらあ」笑顔で言っていました。きつと大丈夫だろうなと思ってしまうほど元気で行動的な方です。今も自分の好きなことに対して「できることは、やつとかんと損だに」を実践し楽しんでる素敵なお夫妻でした。いつまでもお元気で長生きして下さいね。終わりに、突然の取材にに応じて下さり有難うございました。

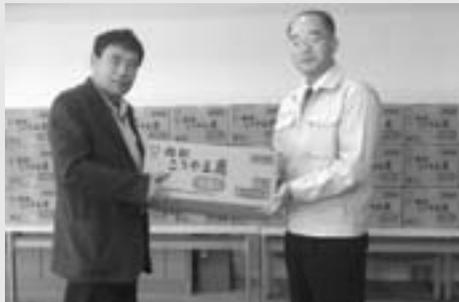


が、昨秋、文化の日に町から表彰されたこと。深見の諏訪神社の氏子総代を二期六年務めたとき、年三回あるお祭りを後世まで伝承するには体系化した資料を残さないと駄目だと感じ、歴代の総代にも話を聞いたりして一冊の本にした。今でも普通にパソコンを使い、長野市辺りまでなら自分で運転して行っちゃうご主人「あと三年は大丈夫、だらあ」笑顔で言っていました。きつと大丈夫だろうなと思ってしまうほど元気で行動的な方です。今も自分の好きなことに対して「できることは、やつとかんと損だに」を実践し楽しんでる素敵なお夫妻でした。いつまでもお元気で長生きして下さいね。終わりに、突然の取材にに応じて下さり有難うございました。



## 寄贈のお礼

12月下旬に旭松食品株式会社様より高野豆腐をご寄贈頂きました。各施設のご利用者様の食材として大切に使用させて頂きました。



## 浄財のお礼

- ・ 連合長野飯田地域協議会様より浄財をいただきました。
  - ・ 株式会社キラヤ様より浄財をいただきました。
- 有効に活用させていただきます。  
有難うございました。

# おもちゃ図書館企画 「風船ふれあい バルーンアート」

親子で風船遊びをしましょう  
作った作品はお持ち帰りください



**日時**：3月22日(土)10:00~11:30

**場所**：阿南町社協(田上) 大ホール

**対象**：未就学児とそのご家族の方(無料です)

**申込み**：3月14日(金)までに社協(22-3151)

担当：玉置・近藤にご連絡下さい



## 受講のご案内

# 介護職員初任者研修資格講座(旧ヘルパー2級)

- 期間：4月17日(木)～8月5日(火) \*週2日程度
- 受講料：¥61,000 (テキスト代別、税込)
- 申込み・問い合わせ：南信州リカレントスクール

TEL：0265-52-3302 FAX：0265-52-2931



編集後記

節分が過ぎても一度も雪かき作業なし、ひよっとして今年には雪かきしないで済むかも！そんな淡い期待を見事なまでに打ち崩した大雪、参りましたね、と書きかけたのは二月十日。三年前の震災時と同様、未曾有の大雪は翌週末にやってきました。十五日の未明に雪かき中、ボキボキ、バキバキと倒木の音が五分に一回位。嫌な予感はしましたが、その後、通行不能が二日、停電が四日、まさに地獄です。雪の恐ろしさ、電気のありがたみを実感した冬でした。でも、深い雪の下にもきつと、美味しい春の恵が息づいていますよね。

(近藤 幹雄)